

# 沖縄及び北方問題に関する特別委員会

## 委員一覧（20名）

委員長	鈴木 宗男（維新）	今井 絵理子（自民）	小西 洋之（立憲）
理事	猪口 邦子（自民）	岩本 剛人（自民）	徳永 エリ（立憲）
理事	山田 宏（自民）	高橋 はるみ（自民）	下野 六太（公明）
理事	石橋 通宏（立憲）	鶴保 庸介（自民）	大塚 耕平（民主）
理事	秋野 公造（公明）	三宅 伸吾（自民）	紙 智子（共産）
	有村 治子（自民）	宮島 喜文（自民）	伊波 洋一（沖縄）
	石田 昌宏（自民）	勝部 賢志（立憲）	（会期終了日 現在）

## （1）審議概観

第202回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

### 〔国政調査〕

第201回国会閉会後の6月19日、沖縄及び北方問題に関する施策に関する件を議題とし、主権の意義及び尖閣諸島に関し領有権の問題は存在しないとの日本政府の主張が持つ意味、主権行使を明確化する観点から尖閣諸島について県や市の名称を併せて呼称・記載することの重要性、沖縄の子供の貧困対策のこれまでの成果と新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた支援の必要性、新型コロナウイルス感染症による沖縄の観光産業への影響及び一括交付金の増額も含めた政府の取組の必要性、宮古島保良地区に建設中の陸上自衛隊弾薬庫の周辺住民の安全確保の在り方、ラブロフ・ロシア外務大臣との北方領土に関する最近の協議内容及びロシア改憲案に領土割譲禁止が盛り込まれることへの大臣の認識、小中学校の学習指導要領改訂を踏まえた教科書における北方領土に関する記載内容、外交青書や内閣総理大臣、外務大臣の挨拶等で北方領土が我が国固有の領土であるこ

とを明確に訴える必要性、沖縄県における遺骨収容において鑑定作業まで県内で完結させることに向けた取組の状況、首里城再建において沖縄の伝統的な工芸・技術を活用する観点から七島イを用いた畳を使用する必要性、沖縄県においても資格保持者が質の高い点検を行うこと等によりインフラの長寿命化対策を進める必要性、根室・国後間海底ケーブル陸揚施設の文化財登録に向けた取組の現状と今後の見通し、令和2年度における北方四島交流事業実施の見通しと航空機墓参実施に向けた取組の必要性、北方領土問題をめぐる歴史的な事実を外務省が正確に国民に周知する必要性、学校行事の際の米軍機への飛行自粛要請の内容及び米軍機往来による教育環境への影響、緑ヶ丘保育園での米軍機の部品落下事件の捜査が長期間進展していないことへの認識、新しいアプローチによる日露平和条約交渉の進捗に対する認識、沖縄振興特別措置法及び沖縄振興計画の検証に関する進捗状況及びそれと合わせた新型コロナによる影響の検証の必要性、首里城再建に向けた政府の取組及び沖縄県による新首里杜構想を支援する必要性、新型コロナ

ウイルス感染症が概ね終息している国や地域からの観光客の出入国制限緩和の可

能性等について質疑を行った。

## (2) 委員会経過

### ○令和2年6月19日(金) (第201回国会閉会後第1回)

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・沖縄及び北方問題に関する施策に関する件について衛藤内閣府特命担当大臣、茂木外務大臣、渡辺防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

有村治子君(自民)、徳永エリ君(※)、勝部賢志君(※)、秋野公造君(公明)、鈴木宗男君(維新)、紙智子君(共産)、伊波洋一君(沖縄)

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

---

### ○令和2年9月16日(水) (第1回)

- ・特別委員長を選任した後、理事を選任した。

### ○令和2年9月18日(金) (第2回)

- ・沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。